

後期基本計画基本施策別一覧表

基本施策5 森林・田園・まち並み 景観の保全	めざす まちの姿	水や緑あふれる豊かな自然、居住地周辺や道路、公園、まち並みなどの日常生活における美しい景観や歴史・伝統文化的景観が保全・育成されながら、次の世代にも大切に継承されていくまちをめざします。
-------------------------------	-----------------	---

現状	課題	個別施策の方向性 【(★)は総合戦略に関連する取組】	主な取組	主な取組に対する具体的内容の例示
<p>◇針葉樹林と広葉樹林の混交林整備により、水土保全機能を発揮する森林づくりを進めています。</p> <p>◇環境市民団体との連携により、総合学習授業の一環として市内全小学校において、環境教育授業を実施しています。</p> <p>◇里山整備や耕作放棄地への植樹など市民主体の活動への支援や、中心市街地活性化の取組支援による町家再生、紅葉名所の整備などを実施しています。</p>	自然の豊かさを活かした景観のさらなる魅力化が必要	① 森林環境・水辺空間の保全(★) 森林や水辺空間の持つ多面的な公益的機能が発揮され、景観にも配慮された森林や水辺の整備、保全を推進します。	①-1 針葉樹林と広葉樹林の混交林整備の促進、地域の自主的な森林整備活動の支援等による景観に配慮された森林づくりを推進 ①-2 水辺の親水や景観に配慮した河川やため池の整備、保全	高齢人工林等を部分伐採したところへの広葉樹等の植栽に対する助成、豊かな自然景観の保全と風景街道づくりを目的に市民が主体的に行う広葉樹等の植樹に対する助成や苗木の支給 市民に親しまれる河川公園等の保全、今後の活用が見込まれるため池の保全や整備、河川改修や維持修繕における景観(環境)に配慮した工法による整備
	耕作放棄地が増えてきており、農地の有効活用、保全の仕組みづくりが必要	② 田園・まち並み景観の保全(★) 農業の振興施策や商工業の振興施策とあわせ、市民や地域、関係団体等との連携により、田園・まち並み景観とその沿道景観の保全を推進します。	②-1 耕作放棄地の再生や利活用に対する支援、耕作放棄地の発生防止対策による田園景観の保全 ②-2 市民や地域、関係団体等と連携し、古民家の再生や保存、商店街の賑わい創出などの取組によるまち並み景観の保全 ②-3 景観に配慮した道路整備、沿道景観保全のための屋外広告物の適正な規制・指導等	耕作放棄地再生に係る経費の助成による農地再生や栽培の取組を推進、農地以外に利活用する場合の景観植樹に対する助成、多面的機能交付金事業による地域の取組、耕作放棄地の発生防止に向けた転作を支援 地域交流施設等に活用するための古民家再生に対する助成、商工会を通じた商店街振興に対する助成、もみじ祭り等における商店街との連携、商店街での地域活動への支援、兵庫県による景観形成地区指定に伴う景観形成基準の周知 山崎中心市街地を通る道路の景観に配慮した改修、道路沿いの緑地保全 兵庫県屋外広告物条例に基づく指導等(屋外広告物のパトロールによる違反広告物の除却指導の実施、ホームページ、パンフレットによる屋外広告物条例に関する周知)
	自然の豊かさを活かした景観のさらなる魅力化が必要	③ 景観の魅力化(★) 景観や景観に影響する環境の保全に向けて市民や地域、関係団体等と意識を共有するとともに、景勝地やその周辺などにおける景観のさらなる魅力化を図ります。	③-1 生涯学習や小中学校での環境教育、イベント等を通じた環境の保全などを学ぶ機会の創出による市民・地域等との意識の共有 ③-2 景観が美しい自然環境を市民や地域等と連携しながら保全していく、紅葉名所など市の知名度の向上と来訪者の増加をめざし、魅力化に向けた整備や取組の推進	森と水の地球環境大学の開催、環境市民団体の活動支援、森林・木育・環境に関する授業(しそ森林の探検隊等)や森林・林業・環境関連施設見学等の実施(しそ学校生き生きプロジェクト事業等) 最上山公園やちくさ高原へのモミジ等の植樹・LEDライトアップ整備、ちくさ湿原における遊歩道整備、公園等における緑化等推進
	景観を生かした知名度の向上や来訪者の増加が必要			

まちづくり指標	指標名	単位	現状値(R1実績)	目標値(R8)	数値の出所(算出方法)	目標値設定の考え方
	耕作放棄田率(再掲)	%/年	10.04	現状値以下	農業委員会が毎年度実施する農地パトロールにおける放棄田面積÷市内農地面積	過疎化や高齢化等により労働力不足が深刻化している状況であるが、農業振興施策の取組を推進していく中で、現状値以下に抑えることを目標とする。
	広葉樹転換面積	ha/年	0.0	12.0	混交林整備事業の植栽面積	4ha/年/地区×3地区(植栽面積)により算出した数値を目標とする。
	揖保川水質状況(BOD値)	mg/l	1.0未満	現状値を維持	市が毎年採水検査する揖保川最南端の戸原橋における水質状況	国(県)の環境基準では、2mg/l以下に保つこととされているが、淡水魚や水生昆虫が生息しやすく、よりきれいな河川の水質基準である1mg/l以下となっている現状値の維持を目標とする。
	千種川水質状況(BOD値)	mg/l	1.0未満	現状値を維持	市が毎年採水検査する千種川最南端の阿踏橋における水質状況	国(県)の環境基準では、2mg/l以下に保つこととされているが、淡水魚や水生昆虫が生息しやすく、よりきれいな河川の水質基準である1mg/l以下となっている現状値の維持を目標とする。

個別連計画	計画名	計画期間	統計等数値
	宍粟市環境基本計画	R3～R7	●水質汚濁の状況 BOD経年変化(mg/l) 揖保川上流:(H25)0.6、(H26)0.7、(H27)0.6、(H28)0.6、(H29)0.7、(H30)0.5 千種川上流:(H25)<0.5、(H26)0.6、(H27)0.6、(H28)<0.5、(H29)0.5、(H30)<0.5
	宍粟市森林整備計画	R1～R5	
宍粟市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	H28.9～		